

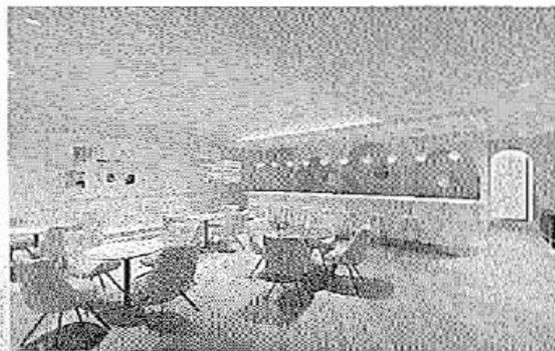
東洋学園大学 ライングリッシュ・ラウンジ 改装

コミュニケーションの場として機能強化

東洋学園大学（東京都文京区）の東洋学園英語教育開発センターは、英語教育や国際交流の場として、在学生に人気のスペースであるライングリッシュ・ラウンジ「English Lounge」を改装する。新しいスペースは4月1日から利用できる。

ライングリッシュ・ラウンジは外国人インターンが常駐するほか、英語教育開発センターと国際交流センターの事務室が併設している。平日の昼休みには外国人教員やインターンと交流できる「Lounge Time」を設けている。年に6回程度開催する「Lounge Event」には、多くの学生が参加している。

今回の改装は実践的な語学学習のための自律的学習や、グローバルな視点身に付けるためのコミュニケーションの場としての機能強化を目的としている。また、教室とは異なる「第三の居場所」として学生が心地よく過ごせる場所として



改装後のイメージ

て、利用率の向上も目指した座席の配置、オンラインでのグループワーク

新たなスペースは、面積を約1.4倍に広げ、大型ホワイトボード、電子黒板、オンライン学習もできる個人席も設置する。多様な利用を想定する。実践的な英語力を身に付けることを目標に、基礎から応用まで段階的に無理なく学習できるように全学共通の英語学習プログラムを正課授業に取り入れている。

や映画鑑賞会などのイベントにも対応できる設備機能、PCやタブレットでの学習に対応している。同学園の英語教育開発センターは、在学生の英語学習に役立つさまざまなサポートをしている。実践的な英語力を身に付けることを目標に、基礎から応用まで段階的に無理なく学習できるように全学共通の英語学習プログラムを正課授業に取り入れている。